

平成24年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

事業名	作って売る眼鏡産地「鯖江」の創出事業	事業コード	2521
-----	--------------------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標 活力ある産業と賑わいのあるまちづくり	属性 工業	基本施策 活力ある工業等を振興する	実施施策 企業の経営基盤強化	1022
	重点施策体系	重点施策 「鯖江ブランド」づくり	分類(大) 鯖江ならではのものづくり	分類(小) 産業活性		711

PLAN(計画)	部署名	商工政策課	開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	産地100年の歴史を誇る国内唯一の眼鏡フレーム産地「鯖江」は、世界最高の技術産地である一方、販売力に欠けることから、近年は、安価で大量生産を得意とする中国製品の台頭により、衰退の一途を辿っている。そこで、「作るだけの産地」から「作って売る産地」への転換によるOEM依存体質からの脱却、産業観光の促進による「楽しみ・愛される産地」の実現を目指した取り組みを行う。				
	概要	「作るだけの産地」から「作って売る産地」への転換によるOEM依存体質からの脱却、産業観光の促進による「楽しみ・愛される産地」の実現を目指した取り組みを行う。眼鏡産地の再生をテーマに平成20年度から国の支援を受け取り組んできた各種実証実験の検証結果を受け、効果が見られた内容について継続した事業展開を図る。 ・タレントコラボ製品開発、デザインコンペ方式によるファッショングラスの開発等 また、新たに、デザイン力・マーケティング力の強化を目的とした各種セミナーを開催する。				
	法令根拠	なし				
	実施形態	現在	補助金等交付			
	内容	市、業界団体、商工会議所が産地振興を目指して一体となって取り組んでいる。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	関係者による協議会の開催		回	目標値	5	5	5	5	5
				実績値	20	6			
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	デザインコンペによるファッショングラスの開発		件	目標値	10	10	10	10	10
				実績値	22	18			
	計算根拠			達成率(%)	220	180			
				ランク	A	A			
			実数値						
事業費/千円	区分	H23(2011)	H24(2012)	事業委員	正規職員	1	会計タイプ	一般会計	
	予算額	12,500	12,500		臨時・嘱託		事業タイプ	単独事業	
	決算額	12,500			※所要時間		経費区分	物件費(投資的)	
	繰越額	0	0						

平成24年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK (評価)	必要性 【ニーズ】住民等のニーズは十分に あります。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	本事業への参加企業が、延べ80社を超えているほか、本事業がきっかけとなり、産地鯖江のブランド化を目指す若手経営者組織が自発的に結成されるなど、本事業へのニーズは十分にある。	
	【行政関与】行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	行政が率先して国の元気再生事業に申請したことがきっかけとなり、従来の業界団体の枠を超えた連携が可能となった。	
	【競合】国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 不可能
		事業名		
		根拠		
	効率・効果 【類似重複】本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
	事業名			
	根拠			
【コスト削減】今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	事業に際し、コスト意識を持ち事業運営にあたっていることから、コスト削減の余地が無い。		
有効性 【財源確保】今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	既に国費等を活用した事業となっており、今以上の財源確保は不要である。		
【成果向上】今以上に、成果を向上させる 余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	平成20年度事業において、事業費をはるかに超える広告効果（約5千万円）を得たほか、以降、異業種からの受注が発生していることに加え、産地の次世代を担う若手経営者による民主導組織ができるなど、今以上の成果向上の余地は無い。		

ACTION	【平成24年度 方向性】 <input type="checkbox"/> 維持	【平成25年度 方向性】 <input type="checkbox"/> 内容拡大
	平成24年度取組み ・タレントコラボ製品開発、デザインコンペ方式によるファッションングラスの開発等 また、新たに、デザイン力・マーケティング力の強化を目的とした各種セミナーを開催する。	平成25年度計画 ・産地経営者のデザイン感性向上を図るためのセミナー、ワークショップの開催 ・産地鯖江のブランド化に向けた産地内の合意形成と基本設計 ・タレントや人気アパレル系セレクトショップとの協業による製品開発と、同訴求力を活かした産地PR

【H25提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="checkbox"/> 不可能						<不可能選択理由> 団体補助等の特定の相手先への補助金や交付金事業のため
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	
取組選択	-	不可能	不可能	不可能		
実施状況	-	未実施	未実施			